

EU Indicators

欧州経済指標コメント：8月ユーロ圏消費者物価（速報）

発表日：2015年9月1日（火）

～低空飛行再び～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

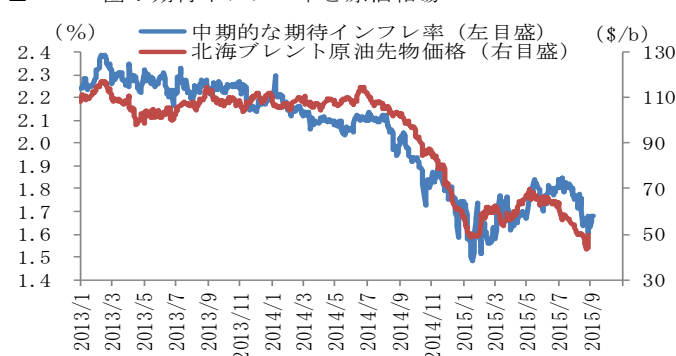
- 8月31日に公表された8月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+0.2%と前月（同+0.2%）から不変。このところの原油価格の再下落を背景に物価上昇率の鈍化を予想する見方が多かったが（事前のコンセンサス予想は同+0.1%）、天候不順による食料品価格の上昇がエネルギー価格の下押しを相殺した。速報時点で公表されている内訳は、エネルギー価格が7月：同▲5.6%→8月：同▲7.1%に下落率が拡大した一方、コア物価（食料、アルコール飲料、たばこを除く総合）が同+1.0%→同+1.0%と前月と同じ上昇率（四捨五入前では同+0.95%→同+1.00%と上昇率が僅かに加速）にとどまったほか、食料・アルコール飲料・たばこ価格が同+0.9%→同+1.2%に上昇率が加速した。
- 中国不安の台頭による世界的なリスク回避姿勢の高まりや商品市況の下落を受け、一部でECBの追加緩和観測が浮上している。さすがに3日のECB理事会で追加緩和が決定される公算は小さいが、緩和期待がユーロ高進行を食い止める要因として働く可能性がある。原油価格の再下落を背景に、向こう数ヶ月のユーロ圏の消費者物価はゼロ近傍での低空飛行が続くことが予想される。エネルギー価格の反動による12月以降に予想される物価の押し上げも当初想定を下回り、来年初にかけて前年比でみた物価の下押し圧力が再び強まる可能性がある。ECBによる量的緩和策は来年9月で終了予定だが、それまでに景気や物価の基調が大幅に改善していない限り、追加緩和観測が高まりやすい。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：期待インフレ率と原油相場



注：期待インフレ率は5年先5年物スワップ金利より計算
 出所：Bloombergより第一生命経済研究所が作成

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2014		2015		2015							
	3Q	4Q	1Q	2Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価（前期比）	0.2	-0.2	-0.3	0.5	-0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.0	0.0	—
（前年比）	0.4	0.2	-0.3	0.2	-0.6	-0.3	-0.1	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2
コア消費者物価（前年比）	0.8	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7	0.6	0.6	0.9	0.8	1.0	1.0
食料/アルコール/たばこ（前年比）	-0.1	0.3	0.3	1.1	-0.1	0.5	0.6	1.0	1.2	1.1	0.9	1.2
食料（前年比）	-0.7	-0.2	-0.1	0.8	-0.5	0.1	0.3	0.6	0.9	0.8	0.5	—
アルコール（前年比）	2.1	1.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	1.0	0.8	—
たばこ（前年比）	2.2	2.6	2.6	3.1	2.2	2.8	2.8	3.0	3.1	3.2	3.5	—
エネルギー（前年比）	-1.8	-3.6	-7.7	-5.3	-9.3	-7.9	-6.0	-5.8	-4.8	-5.1	-5.6	-7.1

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。